

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号
〒660 TEL(06)6411-6852 番
-0092 FAX(06)6411-6241 番
神奈川営業所 横浜市中区山下町194
外丸ビル9F
〒231 TEL(045)663-3611 番
-0023 FAX(045)663-2770 番

日刊メタルレポート

◆自動車生産台数

	1月	2月	3月
生産台数	70万6170台	79万5632台	40万4039台
前月比	-5.9%	+12.7%	-49.2%
昨年同月比	-4.3%	+13.7%	+12.2%

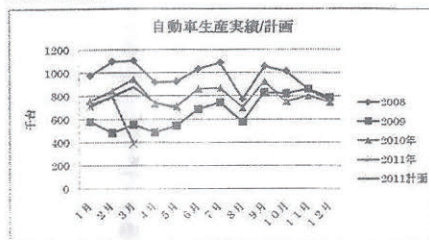
◆自動車販売台数

	2月	3月	4月
販売台数	25万2634台	27万9398台	10万8324台
前月比	+35%	+10.6%	-60.9%
昨年同月比	+23.7%	+60.3%	+9.2%

◆生産計画台数 (震災・計画停電のため発表はなし)

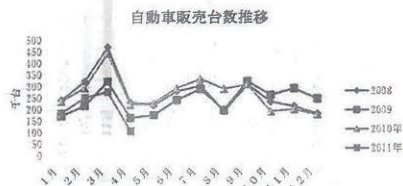
	3月	4月	5月
生産計画台数	85万3800万台	74万1100台	69万3300台
前月比	+10.8%	-15.8%	-6.4%

自動車生産台数推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

◆前月の経済指標

◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比四九・二%減の四〇万四、〇三九台であった。

◆日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は六〇・九%減の一〇万八、八二四台。

◆生産計画台数 (震災・計画停電のため発表はなし) (二面へ続く)

は米三月の鉱工業生産等の米指標の改善を受け上昇する場面はあるものの、米国債の見通し格下げという重大決定、更に中国金融引き締め懸念が続く中、世界最大商社グレコア上場に伴う銅の売却うわさから五月七日現在で八、八三ドル。建値は七五万円、LMEで約一、〇〇〇ドル、建値で八万円下げのスタートとなった。



橋本健一郎氏

橋本金属
・アルミ 橋本健一郎氏リポート①

輸入は電気銅が二〇・二%減

は輸出 電気銅が八〇・九%急増

【概況】四月前半、米雇用統計・企業決算などを好感する形での上昇スタートとなったが、米景気回復期待に伴う米FRBの金融引き締め懸念や、中国PMI(消費者物価)が五・四%と予測を大幅に上

回ったことから金融引き締め懸念が台頭、LME現物後場買いで九、四三九ドルの前半締めとなった。後半

日本の
銅需要
トータルでは四〇六月は減少も

銅価格については下げ幅限定的か

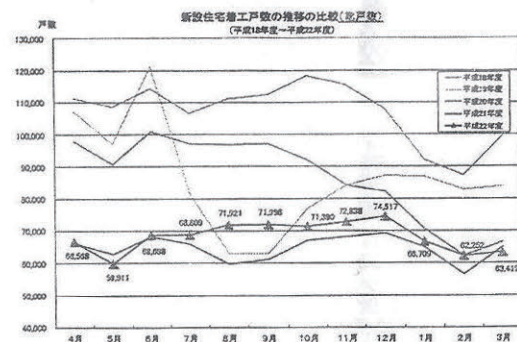
(二面より続く)

◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比一・九%増の六万三、四一九戸であった。

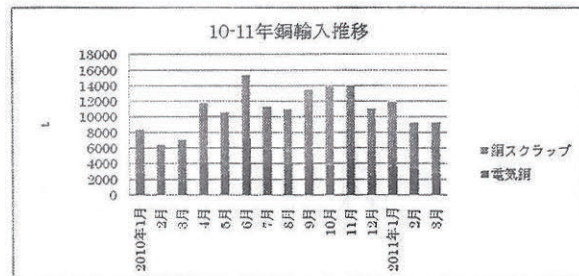
	1月	2月	3月
日本新設住宅着工数	6万6709戸	6万2252戸	6万3419戸
前月比	-10.5%	-6.7%	+1.9%

新設住宅着工戸数推移



出典 国土交通省 統計

	1月	2月	3月
輸入			
電気銅	3564 t	3368 t	2686 t
前月比	+40.5%	-5.5%	-20.2%
スクラップ	8343 t	5919 t	6552 t
前月比	-2%	-29.1%	+10.7%
輸入推移			



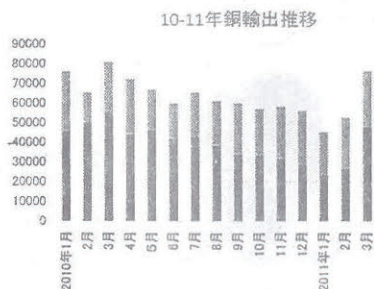
出典 財務省 貿易統計

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が八〇・九%増の四万七、八五二t、スクラップが八・三%増の二万七、三六二t。

輸出	1月	2月	3月
電気銅	2万3405 t	2万6456 t	4万7851 t
前月比	-18.6%	+13%	+80.9%
スクラップ	2万1931 t	2万6281 t	2万7362 t
前月比	-19.8%	+19.8%	+8.3%

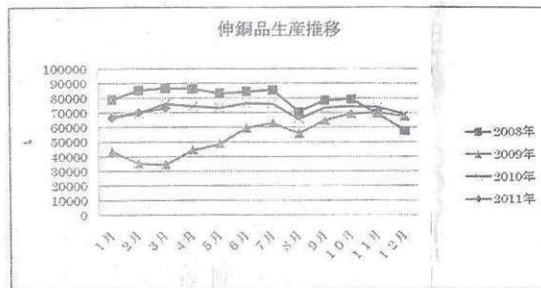
輸出推移



■銅スクラップ
■電気銅

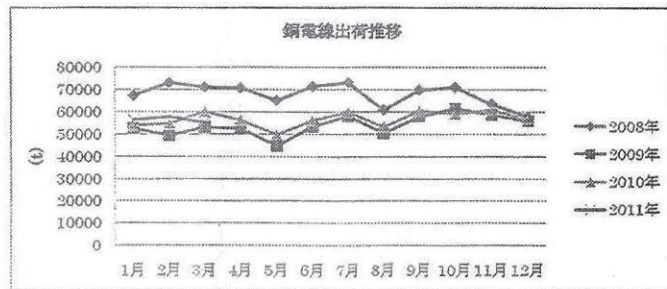
【前月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比四・三%増の七万三、〇八〇t(昨年の前月比九・三%増)。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比四・三%減の五万七、八〇〇tであった(前年同期九・六%増)。(六面に続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】

震災の影響はあるものの 伸銅品生産は前月比四・三％増、昨年の前月比の九・三％増から減少するもプラスをキープ。

自動車生産は前月比四九・二％減の四〇万四千台、昨年の前月比一二・二％増からは急減。

四月の国内自動車販売は、一〇万八千台(前月比六〇・九％減)と昨年の前月比(三・二％増)から大幅悪化。
銅電線出荷量は前月比四・三％減と昨年の

三月の独輸出入額が過去最高に

貿易黒字が拡大―連邦統計局

ドイツ連邦統計局が九日発表した貿易統計(暫定値)によると、今年三月の輸出額は前年同月比一五・八％増の九八三億ユーロ、輸入額は一六・九％増の七九四億ユーロとなり、いずれも過去最高に達した。これまでの輸出額の最高は二〇〇八年四月の八八八億ユーロ、輸入額の最高は一〇年十一月の七四一億ユーロだった。

三月の貿易黒字は一八九億ユーロとなり、前年同月の一七〇億ユーロ、前月の一一九億ユーロから拡大。また、サービス、旅行収支などを含めた経常収支は一九五億ユーロの黒字となり、黒字幅は前年同月の一八八億ユーロ

前月比九・六％増から悪化するも、仮設住宅需要から下げ幅は限定的。

新設住宅着工数は前月比一・九％増の六万三千戸台。下げ止まりが見られるものの、震災の影響で年内回復は難しい。

輸出入に関しては、震災パニックによる一時的な下落を受けて割安感を感じた中国実需筋の買いや、日本国内需の急減警戒から電気銅八〇％増など輸出増、輸入減。

銅需要に関しては、震災によるサプライチェーン問題での見通しが良くも悪くも立ってきている。電線等に関しては仮設住宅需要に期待できるものの、自動車向けへの販売も多くトータルでは四〜六月は減少。

伸銅品に関しては今までけん引してきた板条は震災による影響が大きく、年内は大幅減少、管・棒については仮設・復興需要による大幅増が見込まれ、且つ夏季計画停電による今月からの作りだめ需要により大幅増。

銅価格は、金融引き締めが進む中国、再びPIIGS危機に揺れる欧州経済など懸念材料はあるが、金融緩和継続を決めた米国、震災により世界的な電気銅の供給懸念問題の再燃(中国隠れ在庫約五〇万t、小名浜精錬所日立精錬所年間生産量合計約四五万t)。また、スイス資源商社グレンコア上場に伴う時価総額引き上げ終了のための銅売却のうわさが、今回の暴落でとりあえず終了したのではとの認識から下げ幅は限定的。世界的に引き締まったファンダメンタルズを背景に下げ幅は限られ、銅建値に関しては七五〜八四万円程度と予測している。

口、前月の八七億ユーロからやはり拡大した。

一方、季節調整済み前月比で見た三月の輸出は七・三％大幅に増加。輸入も三・二％増となった。

また、第一四半期の輸出は前年同期比一九・九％増の二、六〇九億ユーロ、輸入は二・四％増の二、一九九億ユーロとなった。貿易黒字は前年同期の三七八億ユーロから四一〇億ユーロに、経常収支の黒字は三四六億ユーロから三五三億ユーロにそれぞれ拡大した。